

# 被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番号	28-25
原子炉建屋内	RB	Z 3	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		③ 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他(プロセス主建屋)	⑦		6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内 容		高線量率移動通路の遮へい・区画			
作業部位		プロセス主建屋通路			
概 略		通路の高線量率部の遮へい、高線量率エリアの区画及び進行方向を明示し、移動時の被ばくを極力減らす努力をした。			
評 価 (定性 定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	44.5	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細		<p>対策前 線源であるピットエリア中央部からのγ線を遮へいする必要があった。</p> <p>対策内容 通路にL型遮へいを設置し、環境線量率を半減させるとともに、不用意に高線量率エリアに接近しないよう区画・進行方向の明示(見える化)を行った。</p> <p>(1) L型仮設遮へい設            ・主な線源であるピットエリア中央部からの線量率寄与を低減            (10.0mSv/h → 5.0mSv/h)</p> <p>L型仮設遮へい</p> <p>(2) 移動経路の区画(見える化)            ・不用意に高線量率エリアを通過しないようテープにて区画            ・移動時の不要な被ばくを防止するため、<u>進行方向を矢印表示で明確化</u></p>			

